

別紙 2

「三重県農業の将来を考える懇話会」の概要

1 目的

三重県では、温暖な気候や変化に富む地形、大消費地が近い地理的条件を生かして水田農業を中心に多様な農業が営まれる一方、農業を取り巻く環境は、国際情勢の不安定化や気候変動による異常気象の頻発化、人口減少や高齢化など、大きく変化してきている。こうした状況を踏まえ、将来を見据えた本県の農業振興を考えていくうえでの専門的な意見を聴取することを目的として、「三重県農業の将来を考える懇話会」を開催する。

<主な協議事項>

- (1)農業の生産力強化（農業経営や農地の集積・集約化など）について
- (2)農畜産物の販路拡大（ブランド化、観光産業との連携、海外への輸出など）について

2 委員

(1)本会議

委員 15 名

(県内外の学識経験者、農業者、食品流通事業者、観光事業者、輸出関係事業者等)

(2)稲作部会

委員 9 名

(県内外の学識経験者、農業者、食品流通事業者等)

(3)野菜部会

委員 11 名 ※令和 8 年度設置予定

(県内外の学識経験者、農業者、卸売事業者、食品加工事業者等)

3 令和 7 年度の取組

(1)本会議

第一回：令和 7 年 5 月 29 日

委員 15 名、県 18 名

- ・三重県農業の現状と課題について
- ・将来を見据えた課題についての意見交換

第二回：令和 7 年 11 月 5 日

委員 13 名、県 16 名

- ・稲作部会での議論の状況報告について
- ・これまでの議論で挙げられた課題の検討について

第三回：令和8年3月23日

委員7名、稲作部会参考人3名、ゲストスピーカー1名、県17名

- ・有識者ヒアリング
- ・稲作部会での議論の状況について
- ・県産農産物の販路拡大について
- ・令和8年度の懇話会の進め方について

(2)稲作部会

第一回：令和7年7月28日

委員4名、参考人5名、県14名

- ・稲作部会について
- ・三重県稲作の現状と課題について
- ・稲作部会のスケジュールについて

第二回：令和7年8月21日～22日

委員3名、参考人3名、県9名

- ・先進地視察（埼玉県）

（農地耕作条件改善事業の取組について
節水型乾田直播技術について
農地中間管理事業と農地整備事業の取組について）

第三回：令和8年1月23日

委員4名、参考人5名、県13名

- ・第一回で検討した事項の課題整理
- ・将来の稲作に向けた意見交換

4 令和8年度の取組予定

(1)本会議

第一回：令和8年8月開催予定

第二回：令和8年12月開催予定

第三回：令和9年3月開催予定

(2)稲作部会

第一回：令和8年7月開催予定

第二回：令和8年11月開催予定

第三回：令和9年1月開催予定

(3)園芸（野菜）部会

第一回：令和8年9月予定

第二回：令和9年2月予定

5 その他

「三重県農業の将来を考える懇話会」の概要や令和7年度の会議結果については、下記の県HPも参考にしてください。

【参考：県HP】 <https://www.pref.mie.lg.jp/SHINGIKAI/m0105500010.htm>